株式会社 LIXIL

使い方・お手入れ方法等、商品についてのお問い合わせは、お客さま相談センターへ

TEL 0120-179-400
FAX 0120-179-430
受付時間　平日　　　9：00～18：00
　　　　　土日・祝日　9：00～17：00
　　　　　（ゴールデンウィーク、夏期、年末年始の休みは除く）
※フリーダイヤルは、携帯電話・PHS・IP電話等ではご利用になれない場合がございます。
下記番号をご利用ください。
TEL.0562-40-4050　FAX.0562-40-4053

修理のご依頼は（取扱説明書の「アフターサービスについて」をお読みください。）

お求めの販売店または
LIXIL修理受付センター
TEL 0120-179-411
FAX 0120-179-456
受付時間　9:00～20:00（365日受付）
ホームページアドレス　http://www.lixil.co.jp/support/

●当社は、当社取扱商品のユーザーさまおよび流通業者さま等の個人情報を商品納入にあたって取得し、将来にわたる品質保証、メンテナンスなど、当社プライバシーポリシーに記載の目的のために利用させていただきます。個人情報の取扱いについての詳細は、当社ホームページの「プライバシーポリシー」をご覧ください。

インターネット・ホームページ・アドレス　http://www.lixil.co.jp/

取扱店

GPU-0353（13113）

袋:PE
ヒモ:PVC

リノビオ Vシリーズ
Pシリーズ

システムバスルーム

お手入れガイド

システムバスルームを美しく、また快適にご愛用いただくために、お手入れ前にはこの「お手入れガイド」をよくお読みいただき、正しく安全にお手入れしてください。
※お手入れを定期的にされない場合、商品の性能が十分に発揮できないことがあります。
以下の内容は取扱説明書に掲載しています。取扱説明書も合わせてご覧ください。（安全上のご注意、ご使用方法、故障かな？と思ったら、交換部品のご案内、アフターサービス、保証書）

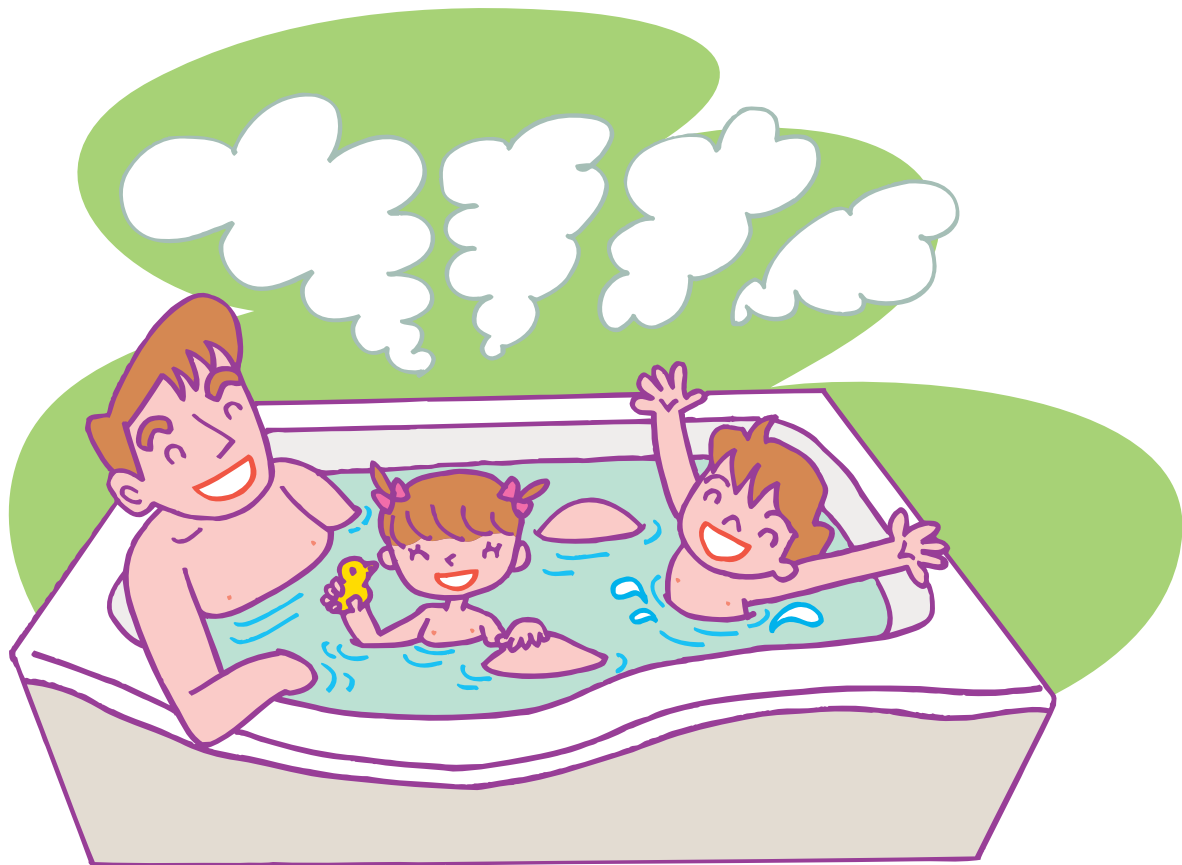
このお手入れガイドや取扱説明書に書かれている注意事項は、必ず守ってください。不適切なお手入れや使用により事故が生じた場合、当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承願います。
※このお手入れガイドと取扱説明書は、必要なときにすぐ取り出せるところに保管してください。
※転居される場合、次に入居される方に、このお手入れガイドと取扱説明書をお渡しください。

しっかりお手入れで、いつもキレイ、快適な浴室を保ちましょう。

浴室は体を清潔にするだけでなく、ホッとくつろいだり、
家族でワイワイ入浴したり、心豊かなひとときが広がる素敵なスペースです。
そんな浴室は、いつもキレイであって欲しいもの。
この「お手入れガイド」は、快適なバスタイムへの思いを込めて、
浴室をキレイに保つお手入れ方法をご紹介していきます。

「お手入れガイド」をよく読み、正しいお手入れをしてください。

まず、「お手入れの前に」(P.3〜8)をご覧ください。

はじめてご使用になる場合は、浴室用合性洗剤(中性)とスポンジでホコリ等を洗い流してください!

以下の表示マークは安全に関する重要な内容を表しています。表示マークがついている内容は必ず守ってください。

■ 表示マークについて

誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を
次の表示マークで区分し、説明しています。

警告 取扱いを誤った場合に、使用者等が死亡または重傷を負う危険な状態が生じることが想定されます。

注意 取扱いを誤った場合に、使用者等が軽傷を負うかまたは物的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定されます。

■ 絵表示について

お守りいただく事項の種類を
次の絵表示で区分し、説明しています。

注意しなさい!

してはいけません!

分解してはいけません!

指示した場所に触れてはいけません!

指示通りにしなさい!

■ お手入れの表示について

本書では、お手入れの頻度と使用する
道具・洗剤を、次のマークで表しています。

●お手入れ頻度

毎日　週に1回　月に1回　半年に1回　汚れが目立ってきたら

●道具・洗剤（詳しくはP.5をご参照下さい。）

スポンジ　洗剤(中性)　クレンザー　カビ取り剤　風呂釜洗浄

※取扱説明書、および水栓、換気乾燥暖房機等の専用の取扱説明書、本体表示の内容もご覧ください。
※本体表示(ラベル)は、はがさないでください。

もくじ

キレイに保つお手入れのコツ

お手入れのコツは「汚れや場所によって洗剤・道具を使い分ける」、「汚れは、種類とお手入れ方法を確認してすぐに落とす」、「毎日＋定期的なお手入れを上手に組み合わせる」です。

浴室は、人の身体から出る皮脂や石けんカス、水道水等による汚れやカビ等、さまざまな汚れが付きやすい場所です。
汚れは放っておくと、固くガンコな汚れになり、取れなくなることもあります。
キレイを保つために「お手入れのコツ」をしっかり実行しましょう。

お手入れ前の確認

お手入れの前に道具を用意し、浴室の汚れやお手入れ方法をご確認ください。

用意するもの

お手入れに必要な洗剤や道具を用意します。

ポイント

洗剤、道具やその使い方によっては、浴室を傷めることがあります。注意しましょう。

汚れの種類とお手入れ方法

汚れの種類により適した洗剤や道具が異なります。
放っておくと取れなくなる汚れもあるのでご確認ください。

ポイント

汚れを見つけた場合は、「汚れの種類とお手入れ方法」でお手入れ方法を確認してすぐに落としましょう。

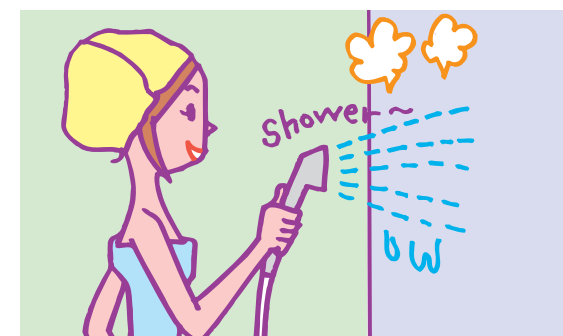
お手入れの基本は　毎日＋定期的なお手入れ

浴室のお手入れはガンコな汚れを作らないことが大切です。
毎日のお手入れと定期的なお手入れを効果的に組み合わせましょう。

毎日のお手入れ方法

毎日の汚れや汚れの原因を、その日のうちに落とします。

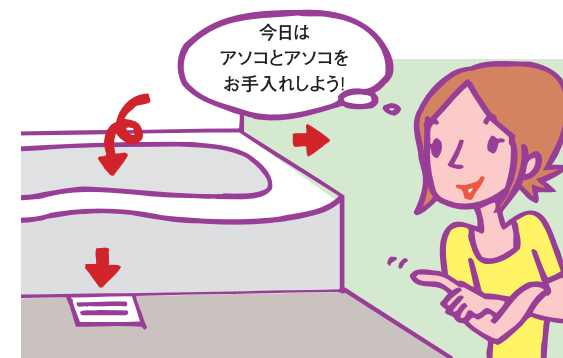
ポイント

浴室がまだ濡れている間に、その日の汚れ（皮脂や石けんカス等）を落とし、水分をふきとりましょう。

定期的なお手入れ方法

「毎日のお手入れ」をしても残ってしまう汚れを、「定期的なお手入れ」で落とします。

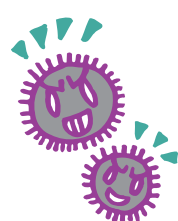
排水トラップ等は、商品の性能を十分に発揮するために、必ず定期的にお手入れしてください。

ポイント

「お手入れの目安」（P.11·12）を参考に、入浴回数や汚れ具合によって計画的にお手入れしましょう。

浴室にカビが･･･

カビについて知り、カビを生えにくくしましょう。

どうしてカビが生えるの?

カビは微生物の一種で真菌と呼ばれています。カビが生えるには①温度（20～30℃）、②湿度（70%以上）、③養分（皮脂、ホコリ等）が必要です。
浴室はこの条件をみたしやすく、カビが生えやすい場所の1つなのです。

カビを生えにくくするために

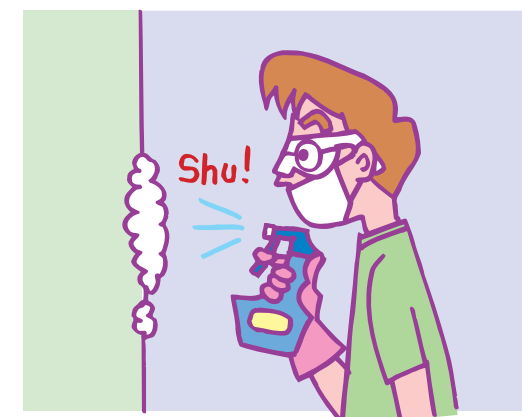
入浴後に、シャワーでその日の汚れ「養分」を洗い流し、水のシャワーで浴室内の「温度」を常温程度に下げます。
その後十分に換気（窓を開けるか換気扇を回す）して「湿度」を下げます。

もし、カビが生えてしまったら

お掃除でカビ以外の汚れを落とし、浴室が乾いているときに…

①ゴム手袋、マスク、保護メガネ等を着用します。
②浴室のドアを閉めて窓を開けるか、換気扇を回します。
③カビが生えている場所にカビ取り剤をスプレーします。
④しばらくおいて水で洗い流します。

※カビ取り剤・防カビ剤を使用する場合は、必ず注意書きをよく読んで正しくお使いください。
※カビ取り剤は長時間放置したり、洗剤の洗い残しがないようにしてください。
　変色や変質、金属のサビ、ゴムの劣化の恐れがあります。
※キレイ鏡にはカビ取り剤が付かないようにご注意ください。防汚効果が失われます。
　カビ取り剤が付いてしまった場合は、すぐに洗い流します。
※カビの上に汚れが付いていたり、ぬれているとカビ取り剤の効果が低下します。
※カビやカビ取り剤に関する詳細は「日本家庭用洗浄剤工業会HP」
　（http://www.senjozai.jp/index.html）をご覧ください。

用意するもの

少しでも楽にお手入れしたい方はおすすめ便利グッズもお試しください。
また、使ってはいけない洗剤・道具もありますのでご注意ください。

道具

種　類		使う場所
スポンジ	大きなやわらかいスポンジ(ウレタンフォーム製等)がお勧めです。「おすすめ便利グッズ」メラミンフォーム	浴槽、エプロン、風呂フタ、腰掛付保温フタ、壁、床、排水トラップ内部、鏡、収納部、カウンター、水栓
柄付スポンジ	柄の付いたスポンジは、天井等のお掃除に便利です。	天井、壁上部等手の届かない場所
やわらかい布	ぞうきんはもちろん、使い古したタオルやTシャツ等。「おすすめ便利グッズ」水切りワイパー、吸水性の高い洗車用タオル	握りバー、タオル掛、収納部、ドア、照明カバー、換気扇・暖房機フロントカバー・リモコン
歯ブラシ	使い古しの毛先が広がっているものをお使いください。	追いだき口カバー、風呂フタ、排水口ヘアキャッチャー、排水トラップ内部、水栓ストレーナー
浴室用ブラシ	先割れ加工(樹脂製の毛先を細く裂いた状態)のブラシをお使いください。	(床)
ゴム手袋	中に綿素材の手袋をして、ゴム手袋をすると肌荒れ防止になります。	換気扇本体、カビ取り剤使用時、その他洗剤使用時

洗　剤

種　類		洗剤(例)	注　意
浴室用合成洗剤(中性)	浴室の汚れに強い成分が配合されています。「おすすめ便利グッズ」スーパークリーナー万能Jrくん	お風呂のルック(ライオン)、マジックリン泡立ちスプレー(花王)	※洗剤が残ると変色やシミ、割れの原因となります。 ※濃縮タイプの洗剤は、原液のまま使わないでください。
浴室用クリームクレンザー	微粒子の研磨剤が入ったクリーム状の洗剤です。	クリームクレンザージフ・バスクリーナー(ユニリーバ)、お風呂のルックみがき洗い(ライオン)	※こすりすぎるとキズが付いたり、逆にツヤが出すぎたりすることがあります。
カビ取り剤	カビを分解して取り除きます。	カビキラー(ジョンソン)、ルックヌメリ&カビ速攻バスター(ライオン)	※長時間放置したり洗剤が残ると変色や変質、サビ、ゴムの劣化の原因となります。 ※カビ取り剤を使用する場合は、P.3・4「浴室にカビが・・・」をご参照ください。
風呂釜洗浄剤	発泡する泡で風呂釜や配管内部の汚れを落とします。	ジャバ(1つ穴用)(ジョンソン)	

※洗剤(例)も汚れの種類や状態・使い方によっては効果がなかったり、浴室を傷めることがあります。

おすすめ便利グッズ

道具の注意書きをよく読みご使用ください。

メラミンフォーム(柄付のものもあります。)	水を含ませてやさしくこすります。道具の注意書きをよく読みご使用ください。 ※こすりすぎるとキズが付いたり、ツヤが出ることがあります。 ※水栓の印字部分は消える恐れがあるので使わないでください。 ※カウンターや収納棚等、木目柄付や光沢のある樹脂製部品、キレイ鏡、キレイ浴槽には使わないでください。
ダイヤモンドパッド(鏡の水アカ取り専用)	※水をつけながら少しずつこすってください。 ※強くこするとキズが付くことがあります。 ※キレイ鏡には使わないでください。
巻フタ用ブラシ、スポンジ	巻フタの凹凸形状のブラシやスポンジなら、お手入れも簡単です。
水切りワイパー(スクイジー) 洗車用タオル	水分を素早く取り除くことができ、ぞうきんをたくさん使わずにすみます。
スーパークリーナー万能Jrくん(マルシン)	固形の植物性中性クリーナーです。こびり付いた汚れや、もらいサビにも効果があります。 ※強くこするとキズが付く場合があります。

✕ 使わないで

表面にキズをつけ、傷めてしまう	●粉末クレンザー、磨き粉等研磨力の強いもの ●硬いスポンジ(金属タワシ、ナイロンタワシ等)、毛先の硬いブラシ
表面が変色したり、シミになる	●溶剤(ラッカー・シンナー等)、薬品類(アルコール・塩酸・アンモニア・苛性ソーダ等)、およびこれらを含む洗剤・洗浄剤 ●「酸性」の洗剤、「アルカリ性」の洗剤(カビ取り剤を除く)(※) ●オレンジオイル配合の洗剤(樹脂部品以外へは使えます)

※「弱酸性」、「弱アルカリ性」の洗剤はご使用いただけますが、浴槽、床、金属・メッキ部品等が変色したり、金属がサビることがあります。
事前に目立たないところで確認の上、また長時間放置したり、洗剤の洗い残しがしないようにご使用ください。
キレイ鏡は防汚性能が落ちるため使わないでください。

警告

カビ取り剤等の使用中、使用後は必ず浴室のドアを閉めて十分に換気してください。

カビ取り剤を使用の際は、肩より上にスプレーしないでください。また、顔や服に飛沫がかからないようにご注意ください。

塩素系の洗剤、洗浄剤と酸性タイプの洗剤、洗浄剤を混ぜて使用しないでください。有害な塩素ガスが発生します。(同時使用および前後の使用でも塩素ガスが発生します。)

カビ取り剤を使用の際は、マスク・保護メガネ・ゴム手袋等を着用してください。

注意

洗剤・道具の注意書きをよく読みご使用ください。

お手入れのときは必ずゴム手袋等で保護してください。
※突起部分やすき間等でケガをする恐れがあります。

洗浄剤は、使用されている給湯器に適したものを使用してください。

固形、または粉末の塩素系洗浄剤・漂白剤を使ったり、近づけたりしないでください。
※金属やゴムが腐食、劣化して漏水の原因となります。

化粧品、アロマオイル等の薬品が付着した場合は、すぐに水できれいに洗い流してください。
※放っておくと漏水や変色、割れ等の原因となります。

お願い

●使わないで
溶剤、薬品類等「×使わないで」に記載のあるものは使わないでください。

●洗剤を使用される時は
洗剤を使用する場合は、事前に目立たないところで変色等ないか確認してください。

●金属類を放置しないで
ヘアピン・カミソリの刃等を浴室に放置しないでください。
※サビが付いてとれなくなる場合があります。

●吸盤付製品の使用について
吸盤付タオル掛、吸盤付石けん置き等を使用しないでください。
※変色する恐れがあります。

●洗剤を長時間放置したり、残さないで
どのようなタイプの洗剤・洗浄剤でも、浴槽や床・壁・カウンター等に塗布後すみやかに水でよく洗い流してください。
※洗剤分が残っていると表面が変色したり変質することがあります。

●カビ取り剤を使用される時は
カビ取り剤等を使用する場合は、必ず注意書きを読み正しくお使いください。
また、使用後はすみやかに水でよく洗い流してください。
※カビ取り剤が残っていると表面が変色・変質することがあります。
また、水栓金具やドア枠等にサビが生じたり、排水栓のゴム部が劣化することがあります。

●化粧品(毛染め剤等)の使用について
浴室内で毛染め剤やマニキュア除光液を使用されるときは、必ずシート等で床等を保護してください。
※付着するとシミになる場合があります。

汚れの種類とお手入れ方法

汚れを見つけたらこのページで種類とお手入れ方法を確認し、すぐに落としましょう。
放っておくと取れなくなる汚れもありますのでご注意ください。

汚れの種類	汚れの色	汚れやすい場所	汚れの特徴	汚れの原因	予防方法	お手入れ方法	注意する点
水アカ 湯アカ	白 褐色	浴槽（水面部） 水栓（金属部分） ドア 鏡 シャワーフック 等	表面が白っぽく、ざらついている汚れです。	「水アカ」は水道水に含まれるケイ酸がたまった汚れです。 ※水に溶けないため、放っておくとガンコな汚れになります。 「湯アカ」は皮脂、石けんカス、ホコリ等が結びついた汚れです。	毎日のお手入れをします。 ※詳しくは「毎日のお手入れ方法」（P.9·10）をご参照ください。	浴室用合成洗剤（中性）をかけ、2〜3分おいてスポンジでこすり、洗剤を洗い流します。 ポイント 浴室用合成洗剤（中性）で落ちなかった汚れに、浴室用クリームクレンザーを使います。 ※キレイ鏡、キレイ浴槽を除く	※浴室用クリームクレンザーを使う場合は、表面にキズを付けたり、こすりすぎてツヤがなくならないようにご注意ください。（特に樹脂·アルミ製部品はキズが付いたり、光沢がなくなりやすいのでご注意ください。） ポイント 浴室用クリームクレンザーを使う時は強くこすらず、汚れ部分を4〜5回磨いては水をかけます。これを繰り返して少しずつ汚れを落とします。 ※キレイ鏡、キレイ浴槽の場合は、クリームクレンザーを使わないでください。
金属石けん （カルシウム石けん、マグネシウム石けん等） （銅石けん等）	白 灰 青緑	床 浴槽まわり ドア 鏡 カウンター シャワーフック 等	ざらついた汚れや、固い汚れ、粘りのある汚れです。	水道水に含まれるカルシウムやマグネシウム、銅等の金属イオンと石けん成分や皮脂が結びついてできた、溶けない汚れです。			※銅イオンは新築当初等、銅管が新しい時に溶け出しやすく、通常は数ヶ月程度でおさまります。（水質によっては長びくこともあります。）
カ　ビ	黒 紫 ピンク	全体	条件がそろえば浴室のあらゆる場所に生える黒や紫、ピンクの汚れです。	「温度」（20〜30℃）、「湿度」（70％以上）、「養分」（石けんカスや皮脂、ホコリ等）がそろうとふえやすくなる微生物の1種です。		カビ取り剤をかけ、しばらくしてから水でよく洗い流します。 ※キレイ鏡にカビ取り剤が付かないように注意し、付いてしまった場合はすぐに洗い流します。	※カビ取り剤をかけて放置したり、洗剤が残ると変色や変質、サビ、ゴムの劣化の原因となります。 ポイント カビ取り剤はお掃除後、浴室が乾燥している状態で使うと効果的です。
ピンク ヌメリ	ピンク	排水口周辺 床 壁（下部）	ピンク色のヌメリ汚れです。	皮脂等を養分にして酵母がふえてできた汚れです。 ※放っておくと色素が沈着して取れなくなります。		浴室用合成洗剤（中性）をかけ、2〜3分おいてスポンジでこすり、洗剤を洗い流します。 ポイント 浴室用合成洗剤（中性）で落ちなかった汚れは、カビ取り剤を使います。	ゴシゴシ洗いはやめて！ 硬めのスポンジやブラシでゴシゴシ強くこすらないでください。表面の細かなキズにカビの菌糸等、汚れが入り込み、落としにくくなります。
ヌメリ	――	排水口周辺 等	排水口周辺にできるヌルヌルした汚れです。	水がたまっている排水口等に細菌がつき、汚れを栄養にふえるとき、ヌメリと臭いが発生します。	週に1回 月に1回のお手入れをします。 ※詳しくは「床排水トラップ」（P.22〜24）をご参照ください。		
もらいサビ	赤茶	床 浴槽まわり カウンター 収納 等	赤茶色のザラザラした汚れです。	ヘアピン、カミソリ等鉄製品や水道水に含まれる微量の鉄粉、外部から入った鉄粉等のサビが付いた汚れです。	サビるものをぬれたまま浴室に放置しないようにします。	浴室用クリームクレンザーで表面にキズを付けないように、やさしくこすり落とします。 ※キレイ浴槽を除く	

毎日のお手入れ方法

お手入れの基本は、毎日+定期的なお手入れです。
浴室を使い終わったら、汚れを落とし、水分もふきとっておきましょう。

基本はシャワー＋スポンジ、ぞうきんで…

毎日

1 少し熱めのシャワーをかけて汚れを洗い流します。

※高い場所から順番にかけます。
※床から1mの高さまでは、特に汚れが付きやすいので念入りに洗います。
※ドアには直接水をかけないでください。水がドアの外へ飛び散ることがあります。

2 こびり付いた汚れはスポンジでやさしくこすり落とします。

3 水のシャワーをかけて浴室内の温度を常温程度に下げます。

4 残った水分をふきとり、窓を開けるか換気扇を回します。

※十分に換気してください。
（常時（24時間）換気機能付き換気設備の場合は、強運転やブロー換気をします。）

豆知識

毎日のお手入れは、入浴あとが効果的

浴室の汚れには、乾燥すると濃縮されてガンコな汚れへと変化するものもあります。
毎日のお手入れは、入浴後の濡れている間にした方が、汚れを楽に落とせます。（カビは除きます。）

※カビ取り剤を使う場合は、「汚れの種類とお手入れ方法」（カビ／注意する点）（P.8）をご参照ください。

水栓・鏡

汚れが目立ちやすいので、シャワーで汚れを洗い流し、乾いた布で水をふきとります。

ポイント 水切りワイパー（P6参照）を使えば、素早く水滴を取り除けます。

壁

こびり付いた汚れはスポンジでやさしくこすり落とします。

浴槽・エプロン・風呂フタ

こびり付いた汚れはスポンジでやさしくこすり落とします。

収納部

シャンプーやリンスの容器底に付いた液だれを洗い流します。

ポイント
落ちにくい汚れには、浴室用合成洗剤（中性）をお使いください。
※ドア、握りバー・収納等のアクセサリー類、照明、換気扇・暖房機は浴室用合成洗剤（中性）を適量薄めてご使用ください。

黒色等濃色の部品は水アカ等の汚れが目立ちやすいので、汚れと水分をよくふきとります。
また、キズも目立ちやすいのでお掃除のときはご注意ください。

ドア・照明・換気扇、暖房機

湿らせた布でふき、乾いた布で水分をふきとります。
※ドア枠のゴミは取り除きます。
※透明面材は汚れが目立ちやすいので、汚れと水分をよくふきとります。

カウンター

カウンターはもちろん、カウンターと壁、浴槽の間にもシャワーをかけてすき間の汚れを洗い流します。

床

こびり付いた汚れはスポンジでこすり落とします。

定期的なお手入れ

お手入れの目安

毎日＋定期的なお手入れをすれば、ガンコな汚れはより付きにくくなります。
また、排水トラップ等は、定期的にお手入れしないと商品の性能が十分に発揮できません。

お手入れの目安を参考に定期的なお手入れ計画をたてます。
詳しいお手入れ方法は右端の参照ページをご確認ください。

［赤枠］定期的にお手入れをしないと、商品の性能が十分に発揮できないため、ご注意ください。 必ず、お手入れしてください。

家族の健康のためにも浴室はキレイに。

	お手入れ目安	毎日	週に1回	月に1回	半年に1回または汚れが目立ってきたら	注意する点	
浴槽まわり	1 浴槽・エプロン		やさしくこすります。		4~5回磨いて水をかける、の繰り返しで落とします。※キレイ浴槽・エプロンを除く	※注1	P13
	2 浴槽排水口		排水栓、排水コアの汚れを落とします。		(プッシュワンウェイ排水栓)押ボタンの汚れを落とします。		P14~
	3 風呂フタ・腰掛付保温フタ		細部は歯ブラシ等で落とします。	おすすめ 月に1回程度、陰干しして乾燥させることをお勧めします。	4~5回磨いて水をかける、の繰り返しで落とします。	※注1	P15
	4 追いだき口(循環口)		吸込口等の汚れを落とします。	風呂釜洗浄剤で配管内部を洗浄します。			P16
	5 浴槽機器		フィルターの汚れを落とします。	風呂釜洗浄剤で風呂釜内部を洗浄します。			P17
壁・天井・床	6 壁	毎日のお手入れ方法(P.9·10)をご参照ください。	やさしくこすります。		カビ取り剤でカビを落とします。	※注2	P18
	7 床		シーリング材をこすります。		カビ取り剤でカビを落とします。※洗剤では取れない汚れは浴室用ブラシでかき出します。	※注2	P19~
	8 天井			やさしくこすります。			P21
	9 床排水トラップ		ヘアキャッチャーをお掃除します。※毎日することをお勧めします。	トラップ内部、部品の汚れを落とします。	トラップ部品の汚れを落とします。		P22~
ドア	10 ドア		ドア・下枠の汚れを落とします。	洗剤を薄めて、やさしくふきとります。	ドア下部等、細部の汚れを落とします。	※注3	P25~
アクセサリー・水栓	11 鏡 ※キレイ鏡を除く(P.27参照)		やさしくこすります。		4~5回磨いて水をかける、の繰り返しで落とします。	※注1	P27~
	12 握りバー・タオル掛		やさしくふきとります。		洗剤を薄めて、やさしくふきとります。		P29
	13 収納部・カウンター・水栓(樹脂部)		洗剤を薄めて、やさしくふきとります。		収納棚を外し、洗剤を薄めてやさしくふきとります。		P29~
	14 水栓		やさしくこすります。	4~5回磨いて水をかける、の繰り返しで落とします。	ストレーナー、整流口、シャワー散水板の汚れを落とします。		P31~
照明	15 照明				洗剤を薄めて、やさしくふきとります。		P34~
換気扇暖房機	16 換気扇暖房機			フロントカバーやフィルターを取り外してお掃除します。	洗剤を薄めて、お掃除します。		P36~

※注1 浴室用クリームクレンザーを使う場合は、表面にキズを付けたり、こすりすぎてツヤが出すぎないようにご注意ください。
※注2 カビ取り剤を使用する場合は、必ず注意書きをよく読んで正しくお使いください。(P.3·4「浴室にカビが…」参照)
※注3 アルミ部分には浴室用合成洗剤(中性)以外は使わないでください。

お手入れの仕上げに、乾いた布等で水分をふきとりましょう。

① 浴槽・エプロン

※キレイ浴槽は、浴槽の上面に「キレイ浴槽の使用上の注意」と表記したラベルが張り付いています。

◆浴槽（キレイ浴槽以外）、エプロン

1. 浴室用合成洗剤（中性）をかけて2～3分おき、その後スポンジでやさしくこすります。

2. 洗剤が残らないように水で洗い流します。

お願い

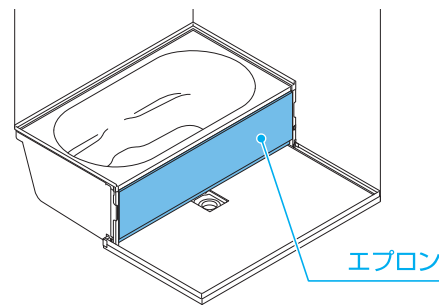
浴室用クリームクレンザーは常用しないでください。浴槽にキズが付いたり、光沢がなくなることがあります。
※本お手入れガイド対象シリーズは、システムバスルームを解体しないと浴槽の交換ができません。浴槽の交換には高額な費用がかかります。

浴室用合成洗剤（中性）で落ちない汚れ（水アカ等）の場合（浴槽のみ）
※エプロンにはクリームクレンザーを使わないでください。

1. スポンジに浴室用クリームクレンザーを付けて、やさしくこすり落とします。
2. 洗剤が残らないように水で洗い流します。

ワンポイント

浴室用クリームクレンザーを使う場合は強くこすらず、汚れを4～5回磨いては水をかけます。これを繰り返して少しずつ汚れを落とします。

※エプロン外フタの裏面をお掃除する場合は、システムバスルーム取扱説明書を参照の上、取り外してください。

◆キレイ浴槽

1. 浴室用合成洗剤（中性）をかけて2～3分おき、その後水を含んだやわらかい浴室用スポンジ（ウレタン素材）でやさしくこすります。

2. 洗剤が残らないように水で洗い流します。

お願い

浴室用クリームクレンザーは使用しないでください。浴槽表面が荒れ、防汚効果が失われます。また、浴槽にキズが付いたり、光沢がなくなることがあります。
※本お手入れガイド対象シリーズは、システムバスルームを解体しないと浴槽の交換ができません。浴槽の交換には高額な費用がかかります。

② 浴槽排水口

週に1回

必ず、お手入れしてください。

1. ゴム栓または、排水栓（密閉栓）を外します。

2. 排水コアのゴミを歯ブラシ等で取り除きます。

3. 排水コアを元通り排水口に戻します。

※向きに注意して奥まで押し込んでください。

※水平になるように取り付けてください。

プッシュワンウェイ排水栓の場合

4. 排水栓を閉めて（排水栓（密閉栓）が下がった状態）、「カチッ」というまで排水口にはめ込みます。

5. 浴槽上縁にある押しボタンを数回押して開閉を確認します。

押ボタン

ワンポイント

浴槽の排水が遅い場合は、浴槽排水口の排水コアにゴミが詰まっていることがあります。確認してお掃除してください。

（プッシュワンウェイ排水栓の場合）
※排水栓を開けて（排水栓（密閉栓）が上がった状態）、まっすぐ引っ張り上げて取り外します。

※取り除いたゴミ等を直接流したり、排水コアを外したまま使用しないでください。
排水管が詰まる恐れがあります。

※排水コアを正しく設置しないと湯張りできなくなることがあります。

浴槽まわり

お手入れの仕上げに、乾いた布等で水分をふきとりましょう。

●押ボタンのお手入れ(プッシュワンウェイ排水栓の場合)

汚れが目立ってきたら

必ず、お手入れしてください。

1. 浴槽の上縁にある押ボタンにガムテープ、または吸盤を張り、押ボタンを1度押し込んでから引き上げて外します。

2. 押ボタンのヌメリやゴミを取り除きます。

※取り除いたゴミ等は、排水管に直接流さないでください。
※押ボタンに入った水は浴槽下から排水されます。

3. シャワーでお湯をかけながら中央の突起部を上下に繰り返し動かします。

4. 押ボタンを「カチッ」というまではめ込みます。

3 風呂フタ・腰掛付保温フタ

1. 浴室用合成洗剤(中性)とスポンジで、細かい部分は、歯ブラシで洗います。
   ※巻フタ用ブラシ(おすすめ便利グッズ)なら、巻フタの凹凸もいっぺんに洗えます。

2. 洗剤が残らないように水で洗い流します。

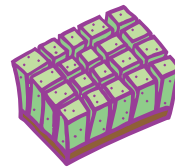
浴室用合成洗剤(中性)で落ちない汚れ(水アカ等)の場合

1. スポンジに浴室用クリームクレンザーを付けて、やさしくこすり落とします。

2. 洗剤が残らないように水で洗い流します。

ワンポイント

風呂フタは月に1回程度、お手入れ後に風通しのよい場所で陰干しして乾燥させるとカビが生えにくくなります。

ナイロンたわし付スポンジに1cm角の切れ込みを入れて洗えば、巻フタ用スポンジの代わりになります。(ナイロンたわしの面は使わないでください。)

4 追いだき口(循環口)

※当社以外の追いだき口(循環口)が取り付けられている場合は、その取扱説明書をよくお読みになりお手入れしてください。

※フィルターに湯アカや毛髪がたまると、目詰まりを起こして湯沸かし機能が正しく働かない場合があります。

1. 循環口カバーを「はずす」の方向(左)へ止まるまで回し、手前に引いて外します。

2. 循環口カバー(フィルター)、循環口本体のゴミを歯ブラシ等で取り除きます。

3. 循環口カバーの△と循環口の△を合わせてはめ込み、**「とめる」の方向(右)へ「カチッ」と音がするまで回します。**

⚠注意

循環口カバー以外は外さないでください。
※漏水する恐れがあります。

お願い

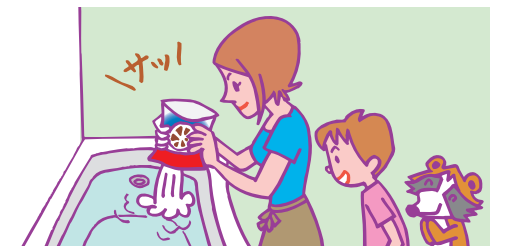
風呂釜用洗浄剤の注意書きをよく読み、ご使用ください。
※給湯器の取扱説明書もご覧ください。

※取り除いたゴミ等は、排水管に直接流さないでください。

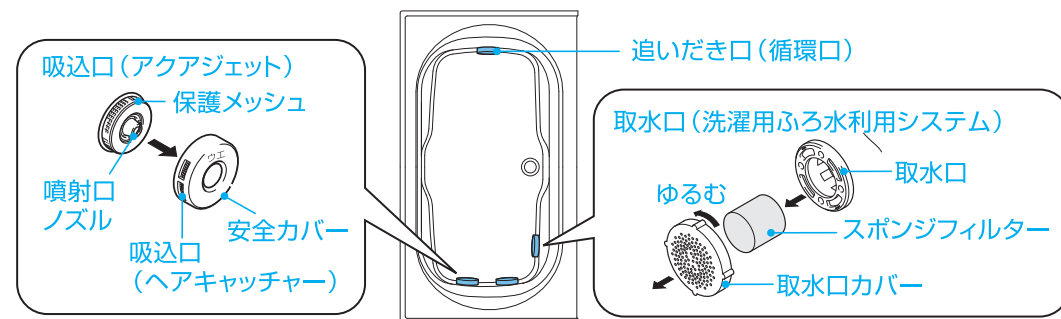
月に1回

風呂釜洗浄

風呂釜用洗浄剤をお使いください。
※浴槽機器(アクアジェット等)付きの場合は、浴槽機器(P.17)もご参照ください。

お手入れの仕上げに、乾いた布等で水分をふきとりましょう。

5 浴槽機器

必ず、お手入れしてください。

浴槽機器付きの場合は、吸込口·噴気口·取水口のゴミ等を取り除きます。
※詳しくは各機器の取扱説明書をご覧ください。

アクアジェット付き、洗濯用ふろ水利用システム付きの場合は、
風呂釜洗浄剤で配管内部をお掃除します。
※詳しくは各機器の取扱説明書をご覧ください。

ワンポイント

追いだきとアクアジェットが付いている場合は、いっしょに洗浄します。
洗濯用ふろ水利用システムと、追いだきまたはアクアジェットが付いている場合は、追いだきまたはアクアジェットの洗浄を先に行います。

※風呂釜洗浄剤の注意書きをよく読み、正しくお使いください。
※配管内部が汚れていると湯アカ等の汚れが出てくることがあります。

お手入れの仕上げに、乾いた布等で水分をふきとりましょう。

6 壁

1. 浴室用合成洗剤（中性）をかけて2～3分おき、スポンジでやさしくこすります。

2. 洗剤が残らないように水で洗い流します。

注意

シーリング材を硬いものでこすらないでください。
※切れたり、はがれて漏水する恐れがあります。

シーリング材が切れたり、はがれている場合は、修理を依頼してください。（P.43参照）
※漏水する恐れがあります。

◆シーリング材のお手入れ（カビが生えているときは）

シーリング材にカビが生えているときは、カビ取り剤をお使いください。

※カビ取り剤や防カビ剤を使用する場合は、以下の点に気をつけて正しくお使いください。
- ●注意書きをよく読みます。
- ●マスク、ゴム手袋、保護メガネを着用し、窓を開けるか換気扇を回してください。
- ●肩より高い場所にはカビ取り剤を直接スプレーしないでください。
- ●長時間放置したり、洗剤を残さないでください。

お手入れの仕上げに、乾いた布等で水分をふきとりましょう。

⑦ 床

キレイ床はお掃除しやすい形状に加えて、表面処理により汚れを落としやすくしてありますが、汚れが付かない商品ではありません。お掃除は必ず行ってください。

週に1回

FRP床にリンス等の成分がこびり付くと水はけ性能が落ちてしまいます。

必ず、お手入れしてください。

1. 浴室用合成洗剤（中性）をかけて2～3分おきます。
2. スポンジで床面や床まわりのシーリング材をこすります。

スポンジ
床

注意

シーリング材を硬いものでこすらないでください。
※切れたり、はがれて漏水する恐れがあります。

シーリング材が切れたり、はがれている場合は、修理を依頼してください。（P.43参照）
※漏水する恐れがあります。

ワンポイント

FRP床は溝の奥にスポンジがあたるようにお掃除します。
溝や表面の微細な凹凸に届きにくい場合は、先割れ加工の浴室用ブラシをお使いください。

お願い

銀イオン配合の洗剤を使う場合は、「毎日」のお掃除をした後にご使用ください。
※洗剤成分が変色して取れなくなる恐れがあります。

カビ取り剤は長時間放置したり、洗剤の洗い残しがないようにしてください。
※変色や変質の恐れがあります。

酸性、アルカリ性の洗剤・洗浄剤（カビ取り剤を除く）は使用しないでください。
※変色や変質の恐れがあります。

シーリング材

FRP床表面は水はけの良い形状になっていますが、一部に水滴が残る場合があります。
- ●床が乾きはじめた後に滴下した水滴。
- ●床周囲の平面部の水滴。
- ●浴室用イスや洗面器等の接触部分。
- ●床（溝）が汚れていたり、換気が不十分な場合、等。

※乾いた布等でふきとっておくと乾燥に時間がかかりません。

3. 洗剤が残らないように水で洗い流します。

汚れが目立ってきたら

洗い場等に、黒ずんだ汚れが付き、浴室用合成洗剤（中性）やカビ取り剤で取り除くことができない場合があります。

そのような場合は、先割れ加工の浴室用ブラシを使い、かき出すようにすると取り除くことができます。

◆床まわりのシーリング材のお手入れ（カビが生えているときは）

汚れが目立ってきたら

シーリング材にカビが生えているときは、カビ取り剤をお使いください。

※カビ取り剤や防カビ剤を使用する場合は以下の点に気をつけて正しくお使いください。
- ●注意書きをよく読みます。
- ●マスク、ゴム手袋、保護メガネを着用し、窓を開けるか換気扇を回してください。
- ●肩より高い場所にはカビ取り剤を直接スプレーしないでください。
- ●長時間放置したり、洗剤を残さないでください。

8 天井

月に1回

1. 柄付のスポンジ等に浴室用合成洗剤（中性）を付け、やさしくこすります。

2. 洗剤が残らないように、湿らせた布でふきとります。

注意

目地やシーリング材を硬いものでこすらないでください。
※切れたり、はがれて漏水する恐れがあります。

目地やシーリング材が切れたり、はがれている場合は、修理を依頼してください。（P.43参照）
※漏水する恐れがあります。

豆知識 重曹やお酢（クエン酸）は注意してお使いください。

雑誌等で環境にやさしい洗剤として紹介されている重曹や酢（クエン酸）。
実は浴室を傷めてしまうことがあるのです。お掃除に使うときはご注意ください。

●重曹

重曹は水に溶けると弱アルカリ性になり、酸性の汚れ（皮脂や湯アカ等）を中和して落とす効果と、マイナスイオンの働きで汚れを洗い流しやすくする効果があります。

★使い方（例）
水１：重曹２～３程度を混ぜ、ペースト状にしてクリームクレンザーの代わりに。
また、２００mlの水に重曹大さじ１杯程度を混ぜ、浴室用合成洗剤の代わりに使います。
使用後はよく洗い流します。

●お酢・クエン酸

酢水やクエン酸水は弱酸性で、アルカリ性（石けんカス、水アカ等）の汚れを中和して落とす効果があります。また、雑菌の繁殖を抑える、消臭効果等があるといわれています。
※調味酢、すし酢等砂糖やみりんを含むもの、果実酢は使わないでください。

★使い方（クエン酸水）（例）
２００mlの水にクエン酸小さじ１杯程度を混ぜ、浴室用合成洗剤の代わりに使います。使用後はよく洗い流します。

●ココに注意

・浴槽・床やアルミ等の金属、メッキ部品、キレイ鏡には使わないでください。
また、他の部分でも長時間放置したり、洗い残しがないようにしてください。
（変色やサビの原因になることがあります）
・重曹・お酢・クエン酸は、使う前に目立たない場所で変色やキズ等のないことを確認してください。
・重曹は素手で扱うと皮膚に刺激を受けることがあります。

9 床排水トラップ

注意

排水トラップのフランジは、ゆるめないでください。
※漏水の恐れがあります。

排水トラップとは排水管の一部に水をためて、臭気や害虫の侵入を防ぐ装置です。
中に水がたまっている（封水といいます）のが正常な状態です。

◆くるりんポイ排水口について

●くるりんポイ排水口について

排水トラップ内に浴槽排水が流れ込む勢いにより「うず流」を起こします。

●「うず流」でヘアキャッチャーの目詰まり、ヌメリのもとを減らします。
●「うず流」で髪の毛等を捨てやすくします。

※浴槽排水しない場合は「うず流」は発生しません。

※水位が低い場合（約150mm以下）等は、十分な効果が得られないことがあります。

※浴槽の水位が高い状態で排水した場合は、一時的に床排水マスに排水がたまり、ゴミ等を集めます。

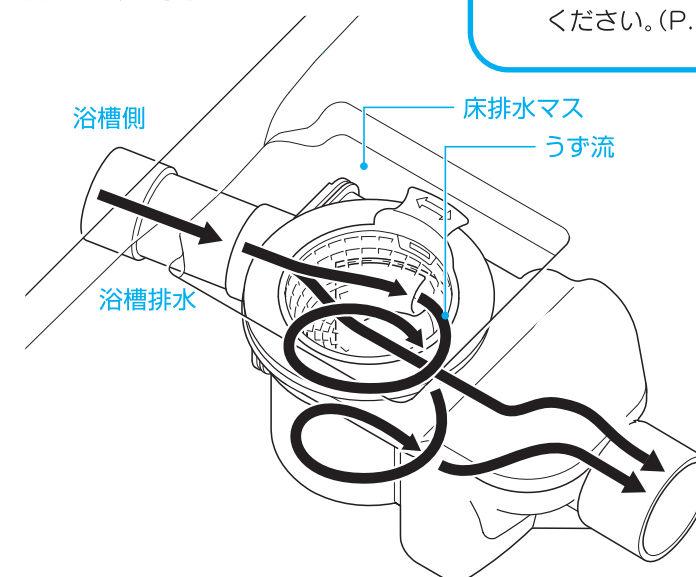
※排水条件によっては「うず流」が持続しない場合がありますが、浴槽排水直後の「うず流」でゴミをまとめる効果はあります。

ワンポイント

くるりんポイ排水口は汚れが付かない商品ではありません。「週に1回」、「月に1回」等のお掃除は必ず行ってください。

ワンポイント

くるりんポイ排水口のうず流が発生しない場合は、以下のお手入れを行ってください。
①整流ブロックを正しく取り付けてください。（P.24参照）
②浴槽排水口の排水コアのお掃除をしてください。（P.14参照）

壁・天井・床

◆ヘアキャッチャー・排水トラップ周囲のお手入れ

週に1回

必ず、お手入れしてください。

1 目皿を外し、排水トラップ周囲や目皿にシャワーをかけながらスポンジでお掃除します。

2 ヘアキャッチャーのツマミを持って、左（反時計回り）に回して取り外します。

①②ツマミ ヘアキャッチャー

3 ヘアキャッチャーのゴミや汚れを落とします。

4 ヘアキャッチャーを右（時計回り）に回して取り付け、目皿を設置します。

※ヘアキャッチャー・排水トラップ周囲に、ゴミがたまったままで使用しないでください。排水が遅くなったり、排水管が詰まる恐れがあります。

※取り除いたゴミ等は直接排水トラップに流さないでください。

ワンポイント

ヘアキャッチャーのゴミは、濡れている方が取り除きやすいため、浴槽のお湯を排水した直後のお掃除をお勧めします。

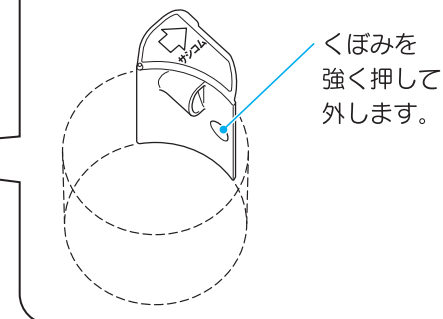
ヘアキャッチャーはロックが掛かるまで回します。

※ヘアキャッチャーを正しく設置しないと、浴槽水の排水時に外れてしまうことがあります。

◆トラップ内部のお手入れ

※排水トラップ内部や整流ブロックに毛髪等ゴミがたまっていると、洗い場の水が排水されなくなる場合があります。

必ず、お手入れしてください。

1 目皿、ヘアキャッチャーを外して、排水トラップ内の整流ブロックを引き出します。

2 整流ブロックの汚れを落とします。

※掃除口キャップは取り外さないでください。

3 排水トラップ内部の汚れをスポンジや歯ブラシ等でお掃除します。

4 お掃除後は、整流ブロックを取り付けます。

整流ブロック

【取付方法】
① 矢印の方向に差し込む。
② ノズル部
ノズル部を押し、「パチン」とロックする。

5 ヘアキャッチャー、目皿を取り付けます。

お手入れの仕上げに、乾いた布等で水分をふきとりましょう。

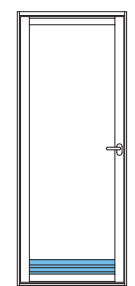
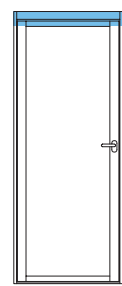
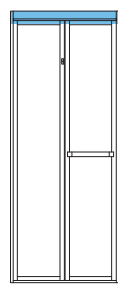
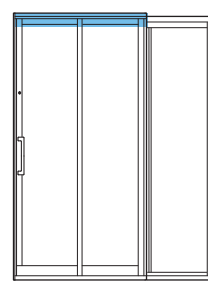
⑩ ドア

⚠注意

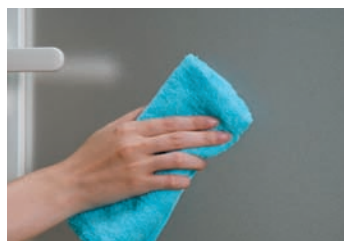
ドアや戸袋に直接水をかけないでください。
※浴室外に水が漏れ、家財等を濡らす恐れがあります。

ドアのお掃除には、浴室用合成洗剤（中性）以外の洗剤は使用しないでください。
※下枠部の排水部分が損傷して漏水したり、変色の恐れがあります。

●ドアの種類

下部の▭部分がガラリ（空気取り入れ口）です。

開き戸UDY

開き戸HDY

折り戸

2枚引き戸

月に1回

浴室用合成洗剤（中性）を適量に薄め、やわらかい布に含ませて、細かい部分は歯ブラシにつけてお掃除します。
※手の届かない場所は柄付スポンジをお使いください。
その後、洗剤が残らないように、湿らせた布でふきとります。

半年に1回

とびら下部やドア枠（レール部分等）をお掃除します。
※ゴミがたまったままにするとドアの開閉が重くなったり、キズが付くことがあります。
ガラリ（空気取り入れ口）のホコリ等を掃除機で吸い取ります。

●開き戸HDY、折り戸、2枚引き戸のガラリのお手入れ

浴室外側のガラリ部分（開閉式）とドア上枠のホコリをふきとります。
※ガラリは、ドア上枠にあります。

◆ドアの下枠のお手入れ

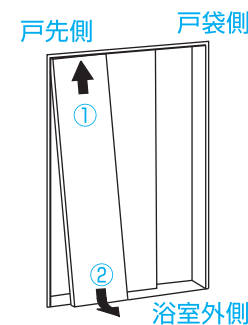
●2枚引き戸のお手入れ

必ず、お手入れしてください。

1. 下枠アタッチメントの浴室内側コーナーを持ち上げて取り外します。

戸先側　戸袋側　①　②　浴室外側

2. とびらを外します。

⚠注意

下枠カバーを外した状態で、とびらを開閉しないでください。
※とびらが外れてケガをする恐れがあります。

3. 下枠カバーを持ち上げて外します。

※下枠カバーは2分割になっています。
※戸袋側の下枠カバー（短）はとびらを外さないと取り外せません。

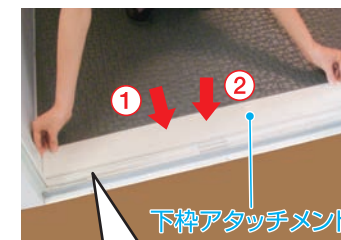
4. ドア下枠のゴミや汚れを取り除きます。

下枠に溜まった水は下枠アタッチメント下より洗い場側へ排水されます。

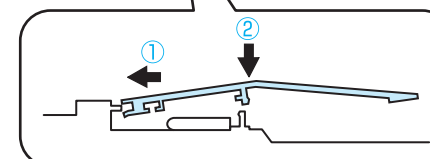
5. 短い下枠カバーは、切り欠き部分を浴室内側に向けて戸袋側に取り付けます。長い下枠カバーは、短い下枠カバーの向きに合わせて取り付けます。

※下枠カバーの位置や向きが間違っていると下枠カバーが浮く等、正しく取り付けできません。

6. 下枠アタッチメントのとびら側をドア枠の突起に差し込み、上から押さえて取り付けます。
最後にとびらを取り付けます。

①　②

※とびらの外し方・付け方は取扱説明書の「2枚引き戸を開閉する（非常時にとびらを取り外す）」をご覧ください。

浴槽エプロン
浴槽排水口
風呂フタ 腰掛付 保温フタ
追いだき口（循環口）
浴槽機器
壁
床
天井
床排水トラップ
ドア
鏡
握りバー タオル掛
収納部 カウンター 水栓(樹脂部)
水栓
照明
換気扇 暖房機

お手入れの仕上げに、乾いた布等で水分をふきとりましょう。

⑪ 鏡

※キレイ鏡はお手入れ方法が異なります。キレイ鏡は鏡の隅に右のマークがついています。　KIREI KAGAMI
※鏡・キレイ鏡は湯気によるくもりを防止する鏡ではありません。シャワー等で鏡を温めてご使用ください。

◆鏡

週に1回

スポンジ　洗剤（中性）

1. 浴室用合成洗剤（中性）をかけて2〜3分おき、スポンジでやさしくこすります。

2. 洗剤が残らないように水で洗い流します。

ワンポイント

鏡は長く使用している間に、水分や酸素の影響を受け、鏡の周辺部に黒っぽいシミのようなものが発生します。（周辺部以外にも発生することがあります。）
※鏡の裏側に洗剤が残らないように十分に洗い流してください。

浴室用合成洗剤（中性）で落ちない汚れ（水アカ等）の場合

汚れが目立ってきたら

スポンジ　クレンザー

1. スポンジに浴室用クリームクレンザーを付けて、やさしくこすり落とします。

2. 洗剤が残らないように水で洗い流します。

お願い

●磨き粉、ナイロンたわし等は鏡にキズを付けてしまうので使わないでください。
●ステンレス部分（鏡まわりのレール等）にクリームクレンザーやカビ取り剤を使わないでください。クリームクレンザーを使用すると、光沢・模様が失われることがあります。カビ取り剤を使用すると変色する恐れがありますので、付いた場合はすぐに洗い流してください。

◆キレイ鏡

「鏡」と同様のお手入れをします。

週に1回

スポンジ　洗剤（中性）

1. 浴室用合成洗剤（中性）をかけて2〜3分おき、スポンジでやさしくこすります。
2. 洗剤が残らないように水で洗い流します。

お願い

●浴室用クリームクレンザーを使ったり、くもり止めキットとの併用はしないでください。
●酸性、アルカリ性（カビ取り剤等）の洗剤が付かないように注意し、付いてしまった場合はすぐに洗い流してください。
※防汚効果が失われます。

汚れが目立ってきたら

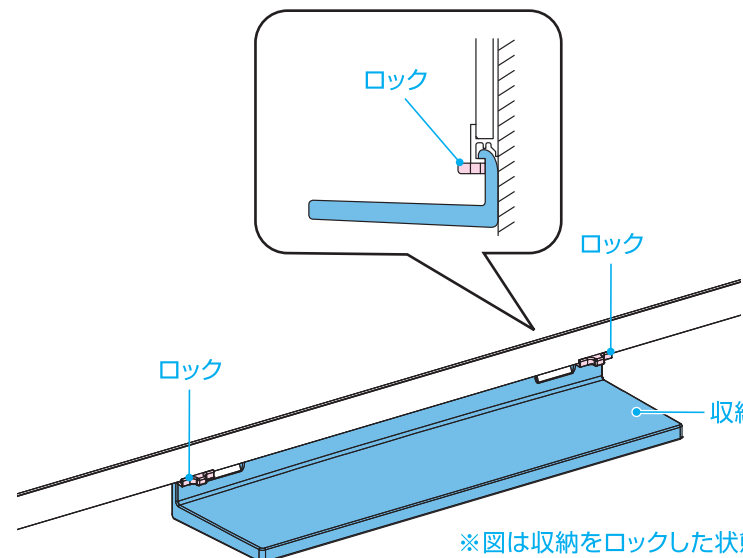
1. 乾いたやわらかい布で汚れをふきとります。

●長期間汚れを放置すると汚れが取れにくくなり、防汚効果も失われます。
●防汚効果は徐々に低下していきますが、鏡としてそのままお使いいただけます。

ワンポイント

●ガンコな落ちにくい汚れには、「スーパークリーナー万能Jrくん」（おすすめ便利グッズP6参照）をおすすめします。
●効果が低下した場合に使用するメンテナンスキットをご用意しております。詳しくは取扱説明書の「交換部品のご案内」をご覧ください。

◆ミラー収納

※ミラー収納の取り外し方の詳細は取扱説明書をご覧ください。

※図は収納をロックした状態です。

お願い

収納は必ずロックした状態でお使いください。
※ロックしないで使用すると不意に収納が外れる場合があります。

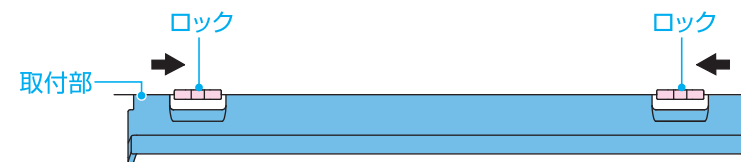
システムワイドミラーの場合、収納は取付位置を変えられます。
位置を変える場合は、収納物を撤去して、一旦収納を外してから変えてください。
※収納物が落下してケガをしたり、壁が傷ついたり、収納が破損する場合があります。
※浴槽側には収納は取り付けできません。

週に1回

乾いたやわらかい布で汚れをやさしくふきとります。

汚れが目立ってきたら

スポンジ　洗剤（中性）

1. 収納物を取り出して、ロックを内側へ動かして解除します。
※ロックは収納の取付部2か所に付いていてロックが取付部にあるときロックされます。

収納状態のまま取り外すと、収納が落下しケガをする恐れがあります。

※図はロックを解除した状態です。

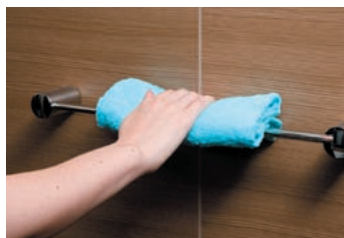
2. 収納の手前側を垂直になるまで持ち上げ、取付部をシステムミラー下枠から外します。

3. 収納に浴室用合成洗剤（中性）を適量に薄めてスポンジに含ませ、汚れを落とします。
4. 洗剤が残らないように水で洗い流し、収納を取り付けます。
※詳しくは取扱説明書をご覧ください。

お手入れの仕上げに、乾いた布等で水分をふきとりましょう。

⑫ 握りバー・タオル掛

週に1回

乾いたやわらかい布で
汚れをやさしくふきとります。

※硬いものをぶつけないでください。キズが付いたり、メッキがはがれたりすることがあります。

※酸性、アルカリ性の洗剤等が付かないようにしてください。メッキを傷めます。

汚れが目立ってきたら

浴室用合成洗剤（中性）を
適量に薄めてスポンジや
歯ブラシ等でお掃除し、
水で洗い流します。

シャンプー・リンス等が付着した場合は、スポンジ等を使って水で洗い流してください。

※そのまま放置すると、シャワーヘッドを掛けた際に、シャワーフックがずれる場合があります。

⑬ 収納部・カウンター・水栓（樹脂部）

週に1回

浴室用合成洗剤（中性）を適量に薄めて
やわらかい布に含ませ、やさしくふき、
水で洗い流します。

お願い
どのような洗剤でも塗布後長時間放置しないでください。また、洗剤を残さないように十分洗い流してください。
※洗剤が残っていると、変色したり変質するおそれがあります。

汚れが目立ってきたら

収納棚等を取り外し、浴室用合成洗剤
（中性）を適量に薄めてスポンジに
含ませ、壁等の汚れを落とします。
水で洗い流し、元通り取り付けます。

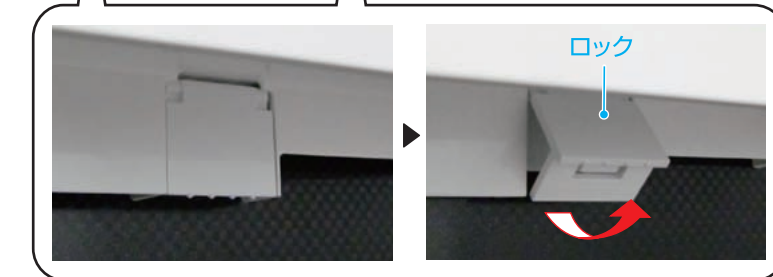
（外し方）

お願い
少しずつゆっくり外してください。
※勢いよく外れ、壁にキズが付く恐れがあります。

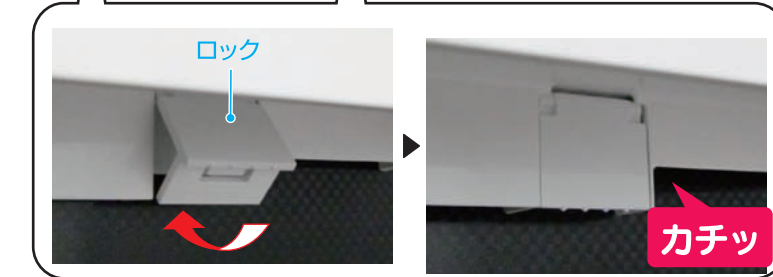
ワンポイント

以下のすき間は歯ブラシ等でお掃除します。
・高級収納棚（幅180mm）の場合のメタル部とのすき間（メタル部は外さないでください。）

●とるピカ スリムカウンターの取外し方

① 上に物が載っていないことを確認し、
両端にあるロック（2か所）を解除します。

② 両端を持ち、片方ずつ
ゆっくり持ち上げて外します。

お願い
無理な力を加えないでください。
※破損してケガをする恐れがあります。
少しずつゆっくり外してください。
※勢いよく外れ、壁にキズが付く恐れがあります。

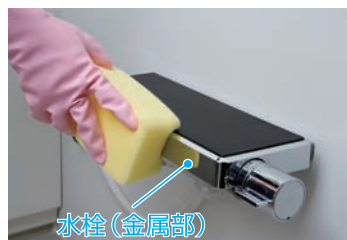
お願い
必ずロックしてお使いください。
※ロックを閉めずに使うと不意に外れる場合があります。

お手入れの仕上げに、乾いた布等で水分をふきとりましょう。

14 水栓

※水栓の樹脂部分は、P.29を参照してください。

◆水栓（金属部分）のお手入れ

週に1回

1. 浴室用合成洗剤（中性）をかけて2〜3分おき、スポンジでやさしくこすります。
   ※細かい部分は歯ブラシ等でお掃除します。

2. 洗剤が残らないように水で流し流します。

⚠注意

メタル調シャワーヘッドにキズが付いた場合は、修理、交換を依頼してください。（P.43参照）
※そのまま使用するとケガをする恐れがあります。

お願い

水栓金具の印字部分（温度表示や切替表示等）にメラミンフォーム（P.6参照）やクリームクレンザーを使わないでください。
※温度表示等の印字が消える恐れがあります。

月に1回

浴室用合成洗剤（中性）で落ちない汚れ（水アカ等）の場合

1. スポンジに浴室用クリームクレンザーを付けて、やさしくこすります。
2. 洗剤が残らないように水で洗い流します。

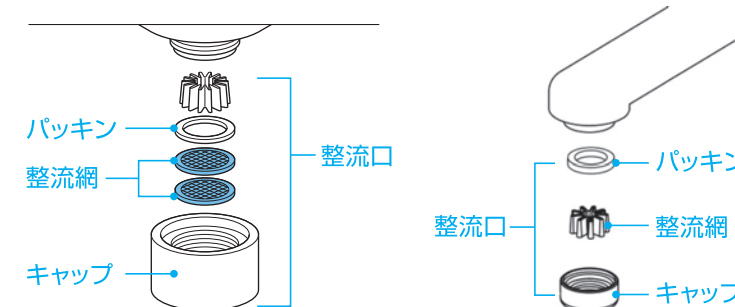
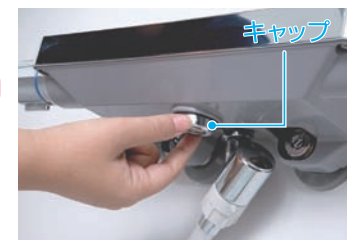
※プッシュ水栓の場合は、ボタンをロックしてからお手入れをしてください。（詳しくは取扱説明書をご覧ください。）

ステンレスはサビない？

ステンレスが鉄等に比べてサビにくい理由は、表面に酸化皮膜形成され保護しているからです。そのため、この酸化皮膜が保てないような環境（塩素系のカビ取り剤の放置やもらいサビの放置等）では、ステンレスといえどもサビてしまいます。
カビ取り剤は長時間放置したり、洗い残しがないようにし、もらいサビも見つけたら早めに落とすようにしましょう。
＊もらいサビ：P.7･8をご参照ください。

吐水口やシャワーからの水量が少なくなったと感じたら、整流口や散水板、ストレーナーのお掃除をしてください。
※整流口や散水板、ストレーナーのゴミ詰まりは機能を低下させます。

◆整流口のお手入れ

手でキャップを回して整流口を取り外し、整流網のゴミ等を取り除き、水で洗います。

◆シャワー散水板のお手入れ

詳しくはシャワーの取扱説明書をご覧ください。

●散水板が取り外せる場合

必ず、お手入れしてください。

散水板を取り外し、水をバケツ等にためてすすぎ洗いをします。

スイッチ付シャワーの場合、シャワーヘッドとシャワーホースは外さないでください。

散水板の取外し方、取付け方

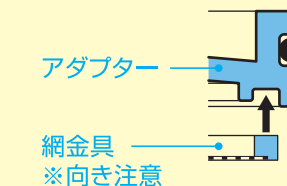
左（反時計回り）に回して取り外します。
つかめない場合は、散水板を押しながら回してください。

スプレーシャワー（メタル調）の場合（散水板をつかめない場合）

押しながら、左に回す

※網金具を取付ける際は、向きにご注意ください。

●散水板が取り外せない場合

必ず、お手入れしてください。

歯ブラシまたは針等でゴミを取り除きます。ゴム製散水板の場合は指でこすります。

シャワーパネルの場合

※シャワーヘッドの中に網金具が入っている場合があります。針等を使う場合は、網金具に穴があかないようにご注意ください。
※シャワーパネル、シャワードバス、スプレーシャワー（ストレートタイプ）の場合は、各取扱説明書をご覧ください。

お手入れの仕上げに、乾いた布等で水分をふきとりましょう。

◆ストレーナーのお手入れ

ここではフロートカウンター水栓のストレーナーのお掃除方法を紹介しています。
その他の水栓については、取扱説明書をご覧ください。

ワンポイント

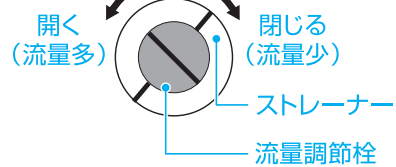
止水栓の開け閉めにより、配管の中のゴミが流れ出し、再度ストレーナーが目詰まりする場合があります。
ストレーナーを元に戻す前に、止水栓を少しあけてゴミを洗い流し、止水栓を閉じてください。

ストレーナーは、配管中のゴミ等を取り除くためのものです。

●フロートカウンター水栓のお手入れ

吐水量が少なくなってきたら

必ず、お手入れしてください。

1. マイナスドライバーでカウンター下の流量調節栓（湯側・水側の2か所）を閉じます。

ワンポイント

流量調節栓を閉じると湯水は止まります。
※流量調節栓の耐圧性能は0.75MPaです。

※流量調節栓は湯側（右）と水側（左）の両方を閉じてください。

※流量調節栓をどれ位回して閉じたか覚えておくと戻すのが簡単です。

※流量調節栓は右（時計回り）いっぱいまで回してください。

2. シャワー・バス切替ハンドルを吐水側にいっぱいまで回します。
※止水されていることを確認します。

3. マイナスドライバーでストレーナーを取り外し、ゴミ等を取り除きます。

※湯側と水側、両方のストレーナーをお掃除してください。

4. 逆の手順でストレーナー、流量調節栓を取り付け、流量調節栓を元の位置まで開きます。

お手入れの仕上げに、乾いた布等で水分をふきとりましょう。

15 照明

※注意事項の詳細はシステムバスルームの取扱説明書をご覧ください。

⚠警告

- ランプの交換以外の照明器具の分解や改造は絶対に行わないでください。
※感電や火災、ショート、故障の恐れがあります。
- 本体表示を確認し、ランプは必ず指定された種類、ワット数のものをご使用ください。
※火災の恐れがあります。
- ランプの交換は必ず電源スイッチを切ってから行ってください。
※感電やショートする恐れがあります。
- 照明カバーやグローブを外したり、割れ・変形したままで使わないでください。
※火災や感電、ランプが割れてケガをする恐れがあります。

汚れが目立ってきたら

1. 照明カバーやグローブの汚れは浴室用合成洗剤（中性）を適量に薄め、やわらかい布やスポンジに含ませてやさしくふきとります。

2. 洗剤が残らないように湿らせた布でよくふきとります。

※硬いものをぶつけないでください。キズが付く恐れがあります。

⚠注意

ダウンライト（LED）、スポットライトのカバーは強く下方向に引っ張ったり、回したりしないでください。
※本体が天井から外れてケガをする恐れがあります。

◆照明用ランプのおとりかえ

照明がつかない場合は、ランプが切れていることが考えられます。
照明スイッチを切って、次の要領で交換してください。
交換しても照明がつかない場合は、お求めの販売店へご連絡ください。

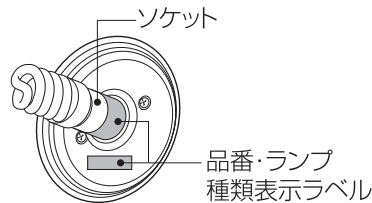
※ダウンライト（LED）、スポットライト、フロアライトの場合は、ランプ交換はできません。
照明がつかない場合は修理・交換を依頼してください。

お手入れの仕上げに、乾いた布等で水分をふきとりましょう。

●照明ランプの交換方法

お使いの照明器具の品番、ランプの種類をご確認ください。
照明器具のソケット、またはソケット周辺に品番・ランプ種類表示ラベルがあります。

下表で適合ランプを確認します。
※確認結果をマークしておくと、次回ランプ交換が簡単になります。

ソケット
品番・ランプ種類表示ラベル

※ネオサークル照明以外の場合や、電球形LEDランプへおとりかえの場合はシステムバスルーム取扱説明書の「ランプのおとりかえ」をご覧ください。

●ネオサークル照明の場合

1 照明スイッチを切ります。

2 グローブを左に回して取り外します。

⚠警告

ランプおよびゴムパッキン、キャップ等の部品はガタつき、ゆるみのないように取り付けてください。
※感電、ケガ、故障、動作不良の恐れがあります。

3 新しいランプに交換します。

〈適合ランプ〉

照明器具の品番	ランプ名称	ランプの形式	定格電圧
EFD-G1-1A2	蛍光ランプ60W形(消費電力15W以下) 形状:D形	EFD15EL	AC 100V
LDA-G1-1A	LEDランプ 形状:A形	･パナソニック LDA10L-G/K60/W ･パナソニック LDA10L-G/Z60/W (2013年9月時点)	

※電球形LEDランプへおとりかえの場合は、取扱説明書の「ランプのおとりかえ」(ワンポイント)をご覧ください。

4 グローブを右に回してガタつき、ゆるみのないように取り付けます。

お手入れの仕上げに、乾いた布等で水分をふきとりましょう。

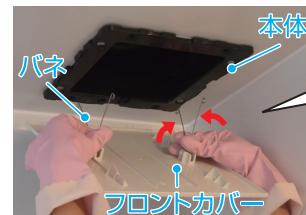
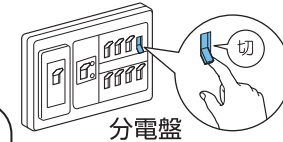
16 換気扇・暖房機

※商品により形状が異なる場合があります。代表的なお手入れ方法を説明しておりますので、必ず各換気扇・暖房機の取扱説明書をご確認ください。

◆換気扇のお手入れ

※フロントカバーや羽根にホコリ等が付着すると風量低下や異常音発生の原因となります。
※フロントカバーの裏側に結露水が溜まっている場合があります。奥側に傾け、溜まった結露水を落としてから取り外してください。

月に1回

1 運転を停止して分電盤のブレーカーを切り、フロントカバーを外します。

フロントカバーを引き下げて、バネを狭めながら取り外します。

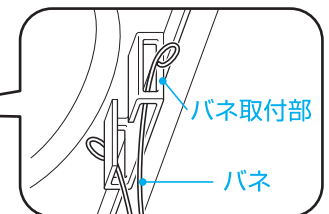
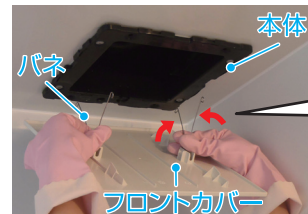
⚠注意

本体内部の羽根等機械部分に無理な力をかけないでください。
※漏電や故障の恐れがあります。

2 フロントカバーの汚れは、ぬるま湯に浸してかたく絞った布でやさしくふきとります。

3 本体の汚れは、適量に薄めた浴室用合成洗剤(中性)を含ませ、かたく絞った布でやさしくふきとります。
その後、乾いた布で洗剤が残らないようにふきとります。

※羽根にホコリ等が付いている場合は、細いすき間ブラシ等で取り除きます。

4 フロントカバーのバネを狭めながら、バネ取付部に差し込み、フロントカバーを押し上げて取り付けます。

汚れが目立ってきたら

1 運転を停止して分電盤のブレーカーを切り、フロントカバーを外します。

2 浴室用合成洗剤(中性)を適量に薄め、やわらかい布やスポンジに含ませて、やさしくふきます。

3 湿らせた布で洗剤をふきとります。

4 フロントカバーを元通りに取り付けます。

※フロントカバーは確実に取り付けてください。

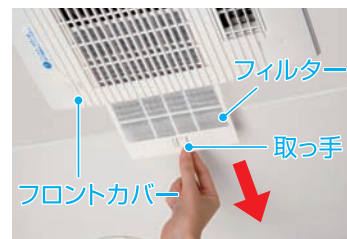
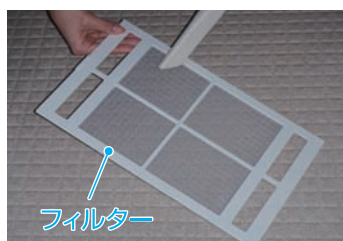
お手入れの仕上げに、乾いた布等で水分をふきとりましょう。

◆換気乾燥暖房機のお手入れ

※フロントカバーやフィルターにホコリ等がたまると性能が低下します。

月に1回

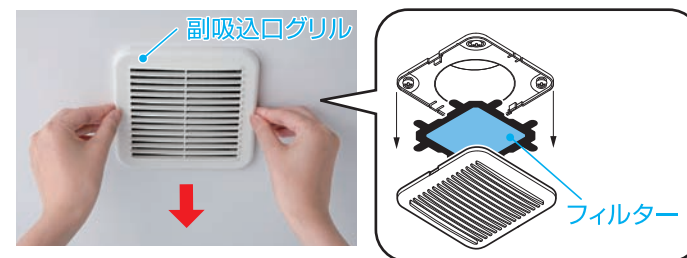
必ず、お手入れしてください。

1. 運転を停止して分電盤のブレーカーを切り、吹出口周辺が十分冷めるまで待ちます。
2. フィルターの取っ手を引っ張り、取り外します。

3. ホコリ等を掃除機で吸い取ります。

4. フロントカバーやリモコンの汚れを、ぬるま湯に浸してかたく絞った布でやさしくふきとります。

5. フィルターを元通りに取り付けます。

●副吸込グリルのお手入れ(2室・3室換気乾燥暖房機の場合)

必ず、お手入れしてください。

1. 副吸込口グリルを両手でゆっくり取り外し、フィルターを取り外します。

副吸込口グリル

2. ホコリ等を掃除機で吸い取ります。副吸込口グリルの汚れはぬるま湯に浸してかたく絞った布でやさしくふきとります。

3. フィルターを副吸込口グリルのツメにセットし、取り付けます。

4. フィルターをセットした副吸込口グリルの凹部分を、副吸込口の凹部分に合わせて取り付けます。

換気扇・暖房機

お手入れの仕上げに、乾いた布等で水分をふきとりましょう。

汚れが目立ってきたら

1. 運転を停止して分電盤のブレーカーを切り吹出口周辺が十分冷めるまで待ちます。
2. フィルターの取っ手を引っ張り、取り外します。
3. 浴室用合成洗剤(中性)を適量に薄め、フィルターを浸してやさしく洗います。

4. フロントカバーやリモコンの汚れを、適量に薄めた浴室用合成洗剤(中性)を含ませ、かたく絞った布でやさしくふきとります。

5. フィルター・フロントカバー・リモコンに洗剤が残らないように、湿らせた布でふきとります。
6. フィルターを元通りに取り付けます。

よくあるお問い合わせ

取扱説明書の「よくあるお問い合わせ」もあわせてご覧ください。

追いだき口(循環口)

Q	A		参照ページ
お湯が沸かない!(時間がかかる)	循環口のフィルターが目詰まりしていないか確認	循環口のフィルターをお掃除します	P16

浴槽排水口

Q	A		参照ページ
お湯がたまらない(翌朝浴槽のお湯が減っている)	排水栓、排水コアが正しく取り付けられているか確認	排水栓、排水コアを正しく取り付けます	P14
排水に時間がかかる	排水栓、排水コアにゴミがたまっていないか確認	排水栓、排水コアのお掃除をします	P14
	床排水トラップ内の整流ブロックが汚れている可能性があります	床排水トラップ内の整流ブロックをお掃除します	P24
プッシュワンウェイ排水栓の動きが悪い	プッシュワンウェイ排水栓の押ボタンが汚れていたり、ゴミがたまっていないか確認	プッシュワンウェイ排水栓の押ボタンをお掃除します	P15

床

Q	A		参照ページ
床の一部に水が残り流れない	床が汚れている	浴室用合成洗剤(中性)とスポンジでお掃除します。タイル床の場合は、水滴をふきとります	P19
FRP床に黒ずんだ汚れが付いて、洗剤では取れない	汚れが細部に入り込んでしまった可能性があります	先割れ加工の浴室用ブラシを使ってかき出すようにお掃除します	P20

床排水トラップ

Q	A		参照ページ
うず流が発生しなくなった	整流ブロックが正しく取り付けられていない、または浴槽排水口(排水コア)が目詰まりしている可能性があります	整流ブロックを正しく取り付け、浴槽排水口をお掃除します	P14、P24
排水直後はうず流が発生しても、しばらくするとなくなってしまう	異常ではありません	排水直後に発生するうず流によりゴミをまとめる効果は得られますので、問題ありません	P22
洗い場に流した水がなかなか排水されない	排水トラップ、またはヘアキャッチャーの目詰まりがないか確認	排水トラップまたはヘアキャッチャーのお掃除をします	P23
洗い場に流した水が、浴槽へ逆流してしまう	整流ブロックがついていない、また汚れている可能性があります	整流ブロックを正しく取り付けます。または整流ブロックをお掃除します	P24
排水トラップから異臭がする	掃除口キャップが外れている、または汚れていないか確認	掃除口キャップを正しく取り付けます、または掃除口キャップをお掃除します	P24
	排水トラップ内にゴミや汚れがたまっていないか確認	排水トラップ内のゴミを取り除き、汚れていればお掃除します	P24

よくあるお問い合わせ

ドア

Q	A		参照ページ
ドアが閉まらなくなった	下枠カバーが正しく取り付けられているか確認	下枠カバーを正しく取り付けます	P25〜P26
ドア下枠から浴室外側へ水が漏れてしまう	下枠溝に毛髪やゴミがたまっていないか確認	下枠溝をお掃除します	P25〜P26

水栓

Q	A		参照ページ
流量が少なくなった	ストレーナーにゴミがたまっていないか確認	ストレーナーをお掃除します	P33
吐水温度がうまく調整できない	ストレーナーにゴミがたまっていないか確認	ストレーナーをお掃除します	P33
流量が少なくなった	シャワーヘッドの散水板の穴がつまっていないか確認	散水板の穴をお掃除します	P32

照明

Q	A		参照ページ
照明が点灯しなくなった	ランプがソケットに正しく、しっかりはまっているか確認	ランプをソケットにしっかりはめます	P34〜P35
	ランプの寿命が切れている可能性があります	ランプを交換します。ダウンライト(LED)、リラクゼーション照明(スポットライト、フロアライト)の場合は、修理・交換を依頼してください	P34〜P35

換気扇

Q	A		参照ページ
フロントカバーが外れそう	フロントカバーが正しく取り付けられているか確認	フロントカバーを正しく取り付けます	P36
運転中に異常音や振動がする	換気扇やフロントカバーが正しく取り付けられているか確認	フロントカバーを正しく取り付けます。換気扇にガタつきがある場合は修理を依頼します	P36

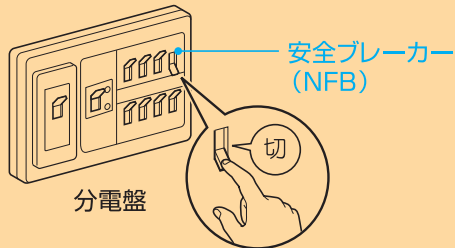
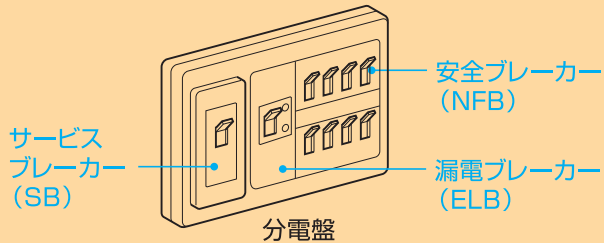
上記の対応をしても直らないときはお問い合わせ、または修理をご依頼ください。
(P.43「修理を依頼されるとき」参照)

このような場合は、修理を依頼してください。

部位	現象	対応方法	連絡先
排水栓	排水栓、排水コアを正しく取り付けても、浴槽にお湯がたまらない(翌朝、お湯が減っている)	ゴム栓、またはプッシュワンウェイ排水栓(密閉栓)を交換します。→取扱説明書、「交換部品のご案内」をご覧ください。	販売店でお求めください ※LIXILパーツショップ水回り部品販売窓口による宅配サービスもご利用ください。
	ゴム栓の玉くさり取付部がとれた	使用を中止して修理を依頼してください。※放置すると漏水の恐れがあります。	販売店または LIXIL修理受付センター
壁・天井・床	シーリング材が切れている。はがれている	使用を中止して修理を依頼してください。※放置すると漏水して、家財等を濡らす原因になります。	販売店または LIXIL修理受付センター
ドア	ドアの面材が割れた	使用を中止して修理を依頼してください。※放置すると浴室外に水や湿気がもれて、家財等を濡らす恐れがあります。	販売店または LIXIL修理受付センター
	施錠してないのにとびらが開かない、閉まらない	修理を依頼してください。	
アクセサリー類	鏡が割れた	使用を中止して交換を依頼してください。※放置するとケガをする恐れがあります。	販売店または LIXIL修理受付センター
	握りバー、シャワーフック、タオル掛等がグラつく	使用を中止して修理を依頼してください。※放置すると漏水して家財等を濡らしたり、ケガをする恐れがあります。	
水栓	ハンドルを回しても吐水口から湯水がポタポタ落ちて止まらない	使用を中止して修理を依頼してください。	販売店または LIXIL修理受付センター
照明	照明カバーやグローブ、本体が割れたり変形している	使用を中止して修理・交換を依頼してください。※放置すると感電や故障の恐れがあります。	販売店または LIXIL修理受付センター
	照明がチラつく 照明がガタつく		
換気扇・暖房機	振動や異常音、異臭(こげくさい等)がする	直ちに停止スイッチを押して運転を終了させ、分電盤のブレーカーを切って、修理を依頼してください。(詳しくは各機器の取扱説明書をご覧ください)※放置すると火災や感電、ケガをする恐れがあります。	各機器の取扱説明書をご覧ください。
	換気扇・暖房機に異常を感じたら		

このような場合は、修理を依頼してください。

 警告

 浴室周辺で異臭や異常音がする場合は、電気器具のスイッチおよび分電盤の安全ブレーカーを切り、すみやかに修理をご依頼ください。
※異常のまま運転を続けると火災や漏電の恐れあります。

浴室の電気器具とつながった分電盤のブレーカーが作動した場合は、使用を中止し、すみやかに修理をご依頼ください。
※浴室の電気器具等に異常のある恐れがあります。作動したブレーカーを入れ直してご使用を続けた場合、火災や漏電等の重大故障の恐れがあります。

修理を依頼されるとき

修理を依頼されるときは再度本書および、取扱説明書をよくお読みいただき、ご確認のうえ、なお異常のあるときはお買い求めの販売店またはLIXIL修理受付センターに修理をご依頼ください。

保証期間中の修理	保証期間経過後の修理
保証期間内は保証書（取扱説明書に掲載）の規定に従って修理させていただきます。	修理によって機能が維持できる場合は、お客さまのご要望によって有料で修理いたします。料金の内訳は、技術料＋出張料＋部品代です。

ご連絡いただきたい内容

1. おなまえ・おところ・電話番号
2. 商品名・品番　←取扱説明書の表紙裏ページの「対象品番の見方」参照
3. 管理ナンバーシールの番号　←取扱説明書の表紙裏ページの「品番を調べるには」参照
4. 取付年月日
5. 故障内容・異常の状況（できるだけ詳しく）←P.40の「故障かな?と思ったら」参照
6. 訪問ご希望日

※事前にご確認のうえ、メモ等を取ってご連絡いただくとスムーズです。

修理の依頼先・アフターサービスについてのお問い合わせ先

修理のご依頼は（取扱説明書の「アフターサービスについて」をお読みください。）

●LIXIL修理受付センター

TEL 0120-179-411
FAX 0120-179-456

受付時間　9：00〜20：00（365日受付）

交換部品の購入方法

交換部品の名称と品番をご指定ください。　※詳しくは取扱説明書「交換部品のご案内」をご覧ください。

●販売店等で購入される場合
当社商品の販売店でお求めください。

●宅配サービスをご利用される場合
LIXILパーツショップ水回り部品販売窓口の宅配サービスにて承ります。
（宅配サービスには送料が別途必要となります。）

風呂フタ　浴槽排水栓

TEL 0120-126-015　受付時間9:00〜17:00（土、日、祝日、年末年始、夏期休暇を除く）

※ご必要になりました部品品番やその他ご不明点につきましては、裏表紙のお客さま相談センターにお問い合わせください。